

「福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査（第4回）結果（確定値）」 の概要について

平成24年10月1日
福島県災害対策本部（原子力班）

平成24年5月23日から6月13日にかけて実施した「福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査（第4回）」の調査結果（確定値）がとりまとめられましたのでお知らせします。

また、本調査結果に基づき、空間線量率マップを作成しました。

1 調査結果の概要

（1）調査結果

全体的に、空間線量率は第2回調査に比べ低下傾向にありました。

（単位： μ Sv/h）

方部	調査 地点数	調査結果の範囲	過去の調査結果	
			第2回調査	第1回調査
県北	394	0.09～2.5（伊達市月舘町月舘）	0.13～4.3	0.16～4.4
県中	941	0.07～1.2（田村市船引町上移下道 他）	0.08～1.4	0.12～2.6
県南	278	0.08～0.89（白河市大信隈戸カケ塚）	0.10～1.2	0.12～1.8
会津	454	0.07～0.26（北塩原村桧原曾原山）	0.07～0.36	0.09～0.88
南会津	151	0.06～0.16（南会津町和泉田欠間）	0.06～0.17	0.04～0.20
相双	199	0.09～3.4（南相馬市原町区高倉七曲）	0.11～5.2	0.18～6.8
いわき	350	0.07～3.1（いわき市川前町下桶売萩）	0.07～3.4	0.14～2.8
合計	2,767	0.06～3.4（南相馬市原町区高倉七曲）	0.06～5.2	0.04～6.8

※ 測定は、道路上の地表面から1mの高さで実施。

※ 第1回調査：平成23年4月12日～16日実施。

（ただし、計画的避難区域（当時、まだ未設定）内のデータを除く。）

※ 第2回調査：平成23年8月17日～9月7日実施。

※ 第3回調査については、冬期の調査（平成24年2月21日～3月9日実施）であったため積雪の遮蔽効果の影響と考えられる測定値の低下が見られ、時系列の変化の単純比較が難しいことから、本表には記載せず。

（2）空間線量率別地点数の割合

ほぼ発電所事故前の水準まで低下したと考えられる0.10 μ Sv/h未満の地点数の割合は、第2回調査では4.9%でしたが、第4回調査では9.1%と増加しました。

また、1.0 $\mu\text{Sv/h}$ 以上の調査地点の割合は、第2回調査では6.6%でしたが、第4回調査では2.5%と減少しました。

方部	0.10 $\mu\text{Sv/h}$ 未満			1.0 $\mu\text{Sv/h}$ 以上		
	地点数 (割合)			地点数 (割合)		
	第2回調査	第4回調査	増減 (第4回調査 -第2回調査)	第2回調査	第4回調査	増減 (第4回調査 -第2回調査)
県北	0(0.0%)	1(0.2%)	1(0.2%)	97(24.4%)	31(7.9%)	$\Delta 66(\Delta 16.5\%)$
県中	9(1.0%)	25(2.7%)	16(1.7%)	32(3.4%)	5(0.5%)	$\Delta 27(\Delta 2.9\%)$
県南	0(0.0%)	4(1.5%)	4(1.5%)	1(0.4%)	0(0.0%)	$\Delta 1(\Delta 0.4\%)$
会津	28(6.2%)	100(22.0%)	72(15.8%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0%)
南会津	96(63.6%)	115(76.2%)	19(12.6%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0%)
相双	0(0.0%)	2(1.0%)	2(1.0%)	47(23.2%)	29(14.6%)	$\Delta 18(\Delta 8.6\%)$
いわき	3(0.9%)	5(1.4%)	2(0.5%)	6(1.7%)	3(0.9%)	$\Delta 3(\Delta 0.8\%)$
合計	136(4.9%)	252(9.1%)	116(4.2%)	183(6.6%)	68(2.5%)	$\Delta 115(\Delta 4.1\%)$

※割合は、各調査毎の調査地点数に対する割合

※別紙1に、空間線量率別地点数の割合のグラフを示す。

(3) 同一地点における第2回調査との比較

第2回調査と比較して、多くの地点(2,488地点(90.8%))で減少しました。変動の増減幅は、+0.14~ $\Delta 2.30$ となっており、最大減少幅の方が大きい状況でした。

(最大幅単位： $\mu\text{Sv/h}$)

	増加		減少		変動無し	計
	地点数 (割合)	最大幅	地点数 (割合)	最大幅	地点数 (割合)	地点数
合計	117(4.3%)	0.14	2,488(90.8%)	$\Delta 2.30$	135(4.9%)	2,740

2 空間線量率マップ

今回の調査結果を基に、空間線量率マップを作成しました。

また、変化を比較できるように、第1回調査及び第2回調査についても、併せて作成しました。(別紙2)

※ 第3回調査については、冬期の調査であったため積雪の遮蔽効果の影響と考えられる測定値の低下が見られ、時系列の変化の単純比較が難しいことから、空間線量率マップは作成していません。

※ この空間線量率マップは、道路上の測定を基に作成しており、森林、農地等の空間線量率を示すものではありません。

原子力班モニタリングチーム
024-521-1917

